

簡001	項 目 名	水道管移設工事費	新規 事業
------	-------	----------	----------

予算書項目	施設管理費	ページ	83
-------	-------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
簡易水道事業費特別会計	
款	簡易水道費
項	簡易水道費
目	簡易水道管理費

(単位:千円)

補正前額	48,350
------	--------

要求額	1,200
-----	-------

総務部長段階査定額	1,200
-----------	-------

市長段階査定額	1,200
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	100
その他	1,017
一般財源	83
計	1,200

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246
【9次総の施策体系】4201
【事業の経過及び背景】 鳥取県が本年度施工する県道鳥取福部線道路改良工事（滝山～百谷地区）の側溝・横断管設置予定箇所に簡易水道配水管があることが4月18日県からの依頼により判明した。工事の支障となるため配水管を移転する必要がある。
【事業の目的及び効果】 他工事により支障となる水道管を移設し、機能確保を図る。
【事業の内容】 百谷地内配水管移設工事 補正額 1,200千円 ・配水管移設 L=20m ・廃止管撤去 L=20m

簡002	項 目 名	施設維持管理費	新規 事業
------	-------	---------	----------

予算書項目	施設管理費	ページ	83
-------	-------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
簡易水道事業費特別会計	
款	簡易水道費
項	簡易水道費
目	簡易水道管理費

(単位:千円)

補正前額	166,214
------	---------

要求額	1,009
-----	-------

総務部長段階査定額	1,009
-----------	-------

市長段階査定額	1,009
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	1,009
一般財源	0
計	1,009

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246
【9次総の施策体系】4201
【事業の経過及び背景】 現在、鳥取地域の簡易水道施設では集中監視装置を設置し、インターネット回線を利用した施設の広域管理を行っている。この装置により、施設の管理者、担当者がPCや携帯電話を使って施設の状況を監視でき、また、異常発生時は担当者の携帯電話に異常の内容を通報できるようになっている。 【事業の目的及び効果】 PCの更新により環境の向上やセキュリティの強化を図り、確実な情報共有と速やかな対応を行う。 【事業の内容】 鳥取地域簡易水道監視装置PC更新 補正額 1,009千円 ・クライアントPC 1式 ・音声通報ボード 1式 ・セットアップ費 1式 * その他財源のその他は、前年度繰越金

--

簡003	項 目 名	宇倍野簡易水道整備事業費	新規事業
------	-------	--------------	------

予算書項目	施設建設費	ページ	83
-------	-------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	簡易水道事業費特別会計
款	簡易水道費
項	簡易水道費
目	簡易水道建設費

(単位:千円)

補正前額	9,025
------	-------

要求額	354
-----	-----

総務部長段階査定額	300
-----------	-----

市長段階査定額	300
---------	-----

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	300
その他	0
一般財源	0
計	300

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246

【9次総の施策体系】4201

【事業の経過及び背景】

国府地区は2系統（山崎系統、玉鉾系統）の水源で給水しており、そのうち山崎系統については浄水場、配水池、管路など施設整備をすでに完了している。一方玉鉾系統については配水池が設置後50年を経過し老朽化が顕著で、管理道のない山頂に築造（古墳等のため、管理道が造れない）されているため、維持管理の問題を残している。

【事業の目的及び効果】

配水池を別用地に新設し、併せて送水ポンプ・送水管・連絡配水管を整備し、飲用水の安定供給と維持管理費の低減を図る。

【事業の内容】

配水池用地取得に係る用地交渉費 補正額 300千円

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

簡004	項 目 名	江波簡易水道整備事業費	新規事業
------	-------	-------------	------

予算書項目	施設建設費	ページ	83
-------	-------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	簡易水道事業費特別会計
款	簡易水道費
項	簡易水道費
目	簡易水道建設費

(単位:千円)

補正前額	67,642
------	--------

要求額	6,700
-----	-------

総務部長段階査定額	6,700
-----------	-------

市長段階査定額	6,700
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	6,700
その他	0
一般財源	0
計	6,700

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246
【9次総の施策体系】4201
【事業の経過及び背景】 江波地区の水道施設はS47年の創設以来38年が経過し、老朽化が進んでいるため、損傷が激しい施設から随時施設の更新を進めており、現在、配水池、滅菌設備の整備が完了している。
【事業の目的及び効果】 今年度計画している集落内配水管・給水管の更新に加え、漏水が発生している橋梁添架部分の送水管の更新、安定した取水量を確保するための取水施設の改修を行い、清浄にして豊富な水道水の安定供給をはかり、生活環境の向上に寄与する。
【事業の内容】
・取水施設改修工事 補正額 1,900千円
・橋梁添架部分送水管布設替工事 補正額 4,800千円

簡005	項 目 名	口佐治簡易水道整備事業費	新規事業	○
------	-------	--------------	------	---

予算書項目	施設建設費	ページ	83
-------	-------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
簡易水道事業費特別会計	
款	簡易水道費
項	簡易水道費
目	簡易水道建設費

(単位:千円)

補正前額	0
------	---

要求額	20,790
-----	--------

総務部長段階査定額	20,790
-----------	--------

市長段階査定額	20,790
---------	--------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	20,700
その他	0
一般財源	90
計	20,790

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246
【9次総の施策体系】4201
【事業の経過及び背景】 当簡易水道施設は、昭和54年度に更新整備され、平成13年度に水源を整備した、現在給水人口677人、給水戸数209戸の市管理の簡易水道である。口佐治に隣接する葛谷、小原地区は変更認可を得て給水区域に編入されているが、施設整備がされないままになっており、当地区は水道未普及地域となっている。
【事業の目的及び効果】 この葛谷・小原地区に配水管等必要な水道施設の整備を行い、清浄にして豊富な水道水の安定供給をはかり、生活環境の向上に寄与する。
【事業の内容】 測量詳細設計業務 補正額 20,790千円

簡006	項 目 名	津無簡易水道整備事業費	新規事業	○
------	-------	-------------	------	---

予算書項目	施設建設費	ページ	83
-------	-------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
簡易水道事業費特別会計	
款	簡易水道費
項	簡易水道費
目	簡易水道建設費

(単位:千円)	
補正前額	0

要求額	22,462
-----	--------

総務部長段階査定額	22,462
-----------	--------

市長段階査定額	22,462
---------	--------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	22,462
計	22,462

行財政改革課処理欄	
-----------	--

事業の概要

【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246
【9次総の施策体系】4201
【事業の経過及び背景】 当簡易水道施設は、昭和33年度に創設され、現在給水人口137人、給水戸数52戸の地元管理の簡易水道である。配水管の一部は後年度の集落排水工事に伴い随時布設替えされてきたが、水源地、浄水場、送水管、配水池等は老朽化が進行し、近年は故障・漏水等も相次いでおり劣悪な状況である。佐治の中でも改修整備を急ぐ必要性が高い施設であり、地元の改修希望も強い。また、他の簡易水道とは1km程度離れ、土地の高低の起伏も大きく、統合よりも単独整備が経済的で適切と考えられる。湧水が比較的豊富な地域であり、新規水源にはこれを利用することも含めて検討していく。 【事業の目的及び効果】 住民に清浄にして豊富な水道水を安定的に供給するために老朽化した施設を改修し、安心して利用できる施設とし、併せて生活環境の向上に寄与する。 【事業の内容】 ・水源調査（電気探査）業務 補正額 7,190千円 ・水源調査（ボーリング調査）業務 補正額 15,272千円